

# うた ひつじの詩だより

2008. 7. 1  
毎月発行 No.88  
この度は注目の品と  
いっしょにお届けします

今年は梅雨らしい梅雨ですね。家々の庭先のあじさいのなんて色鮮やかなこと。スウェーデンひつじの詩舎のアトリエでは、生胡桃の染色真っ最中です。そして、もうすぐ夏休み！

## New!! 指人形 「虹の子」



虹を見つけたとき、どうしてあんなにうれしい気持ちになるのでしょうか。白壁の上に映る小さな虹を見つけた時、水撒きしているシャワーの中に虹が現れた時。なにより、空にかかる虹の



アーチを見つけたときの喜びは、何ものにもかえられません。

子どもの頃から、私は虹の端が家々の屋根や山の稜線にさえぎられてしまうことが残念で残念でなりません。もうずいぶん大きくなってからのこと、夏の日の夕立の後に虹がかかった時、よし、今日こそ虹の端を見届けると無鉄砲な気持ちに突き動かされて、空の虹を見上げながらずんずん歩いたことがありました。奇妙な熱とどこまで行くのだらうという心細さとを抱いてずいぶん長く歩いたように記憶していますが、実際にはほんの短い時間だったのでしょう。もちろん、辿り着く前に、虹は消えてしまいました。今でも、虹の端に立ってみたいというのが私の密かな願いです。



三原色で虹色に染めたフェルトシートを使って、「虹の子」たちを作りましょう！白樺の土台に貼りつけるだけなので、作り方はとっても簡単！

ボディのフェルトを裁って着せつけ、腕はフェルトを丸めて両端に手のウッドビーズを縫い付け、中心で切り分けて作ります。髪の毛と帽子をつけて、好みで目と口を色鉛筆やボールペンなどで描き、頬に赤みをさせれば、できあがり！虹のアーチの上でとんだりねたり遊んでいる子どもたちのような指人形です。

三原色で染めたフェルトシートの微妙な色合いをいかして、ボディや衿、帽子、縁飾りなどの組み合わせを考えるのが楽しみです。ぜひ、お子さんと一緒に夏休みの手作りにお役立てください。7月14日新発売です。

(指人形「虹の子」のキット：2体分 2,000円)

## ウォルドルフ人形展のお知らせ

7月19日(土)～21日(月) ばふ草津店 担当：中野久仁子  
滋賀県草津市野路1丁目3番 TEL：077-569-3003

## スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

- ★ 8月10日(日)から16日(日)まで夏休みをいただきます。どうぞよろしくお願いたします。
- ★ 佐々木奈々子の作品展が、11月5日(水)から11日(火)まで、横浜高島屋にて開催されます！お楽しみに。



## ぱたぼん通信 我が家の昔と今……

梅雨の合間の天気の良い日、久しぶりに押入れを覗いてみると、そこには懐かしいお人形たち……ついこの間まで、息子や娘の側にいて、笑ったり、泣いたり、怒ったりしていたのに、今では少し暗い中で静かに眠っているのです。あまりの懐かしさにお人形たちを部屋の中に広げてみると、そこには、色褪せたり、シミがついたりしている少しくたびれた姿がたくさんありました。でも、お人形たちの顔も微笑んでいて「久しぶりです。元気ですか？私は元気ですよ！！」と話し掛けてくれているようでした。それぞれのお人形たちが誕生した時の「あれやこれや」が思い起こされ、子供の遊んでいた姿と、なによりも親業に思い切り力が入って苦しんでいた頃に私自身が癒されていたことを思い出し、「いろいろとたくさん、本当にありがとう！」と胸がいっぱいになりました。

夜、子供たちが帰宅してくると、広げてある人形たちにびっくり顔。でもすぐに、「あ～懐かしいね～」と人形を手に取り、親子でしばしのタイムスリップ……となりました。しばらくすると、「う～ん、この子は少し首が傾いているよ、こっちの子は目の大きさが違うみたいね。う～ん、ちょっとグニャグニャしてる～」久しぶりのご対面は、懐かしかったり、少し厳しかったりと大人の目もありました。

ようやく子育てでも少し落ち着いてきたこの頃ですが、悩みも多い毎日です。思春期、青年期に親が出来ること、母親として出来ることを考えます。今の社会の中では、とても難しく考えてしまいますが、ある本の中に優しく温かい言葉を見つけました。

「大きくなった時の受容について……心を込めた手作りの食事を根気良く毎日作ってあげること。それは、ぜいたくや品数を増やすことではなく、子どもや家族の気持ちを癒し、輝かせる物であり、そして、生きていく力と実感を与え、生命の大切さを感じる力を与える物でしょう。毎日の小さな積み重ねと心掛けが大きな成果を生むのです。人間の本当の幸福は相手の幸せのために、自分が生かされていると感じられている時に味わえるものです」

特別なことではなく、私が今すぐにしっかりと出来ることに嬉しくなり、自信を持つことが出来ました。レポートが少ない私は、今日も料理本を片手に楽しく台所に立っています。  
濱田 幸子(東京都町田市在住)



編集担当：佐藤治子  
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ  
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥  
スペース ベレのあたらしい心く  
〒244-0001 横浜市磯区磯が丘15-2  
TEL/FAX 045-881-0000/0005  
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708  
相模原口火・金 担当：寺田裕子045-881-7035